

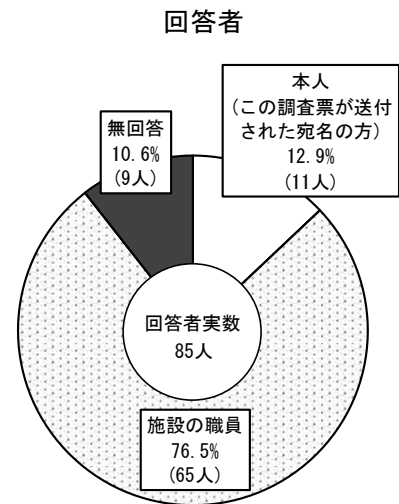
# 施設入所者調査結果



## ■ 施設入所者調査結果 ■

### ◎回答者

「施設の職員」が76.5% (65人)と最も高く、次いで、「本人(この調査票が送付された宛名の方)」が12.9% (11人)となります。また、「本人の家族」、「その他」の回答はありませんでした。

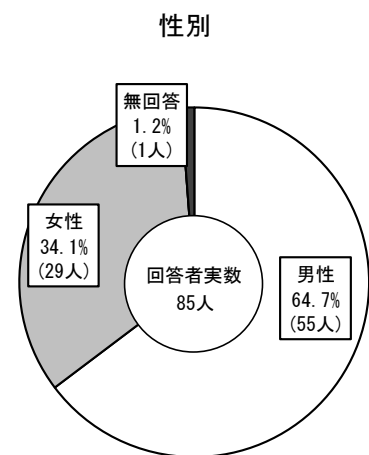
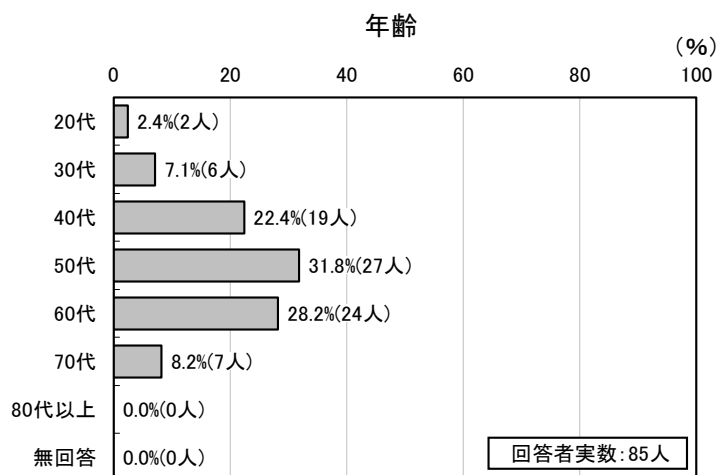


## 1. 基本的なことについて

### (1) 性別・年齢

年齢は、「50代」が31.8% (27人)と最も高く、次いで、「60代」が28.2% (24人)、「40代」が22.4% (19人)、「70代」が8.2% (7人)、「30代」が7.1% (6人)、「20代」が2.4% (2人)となります。また、「80代以上」の回答はありませんでした。

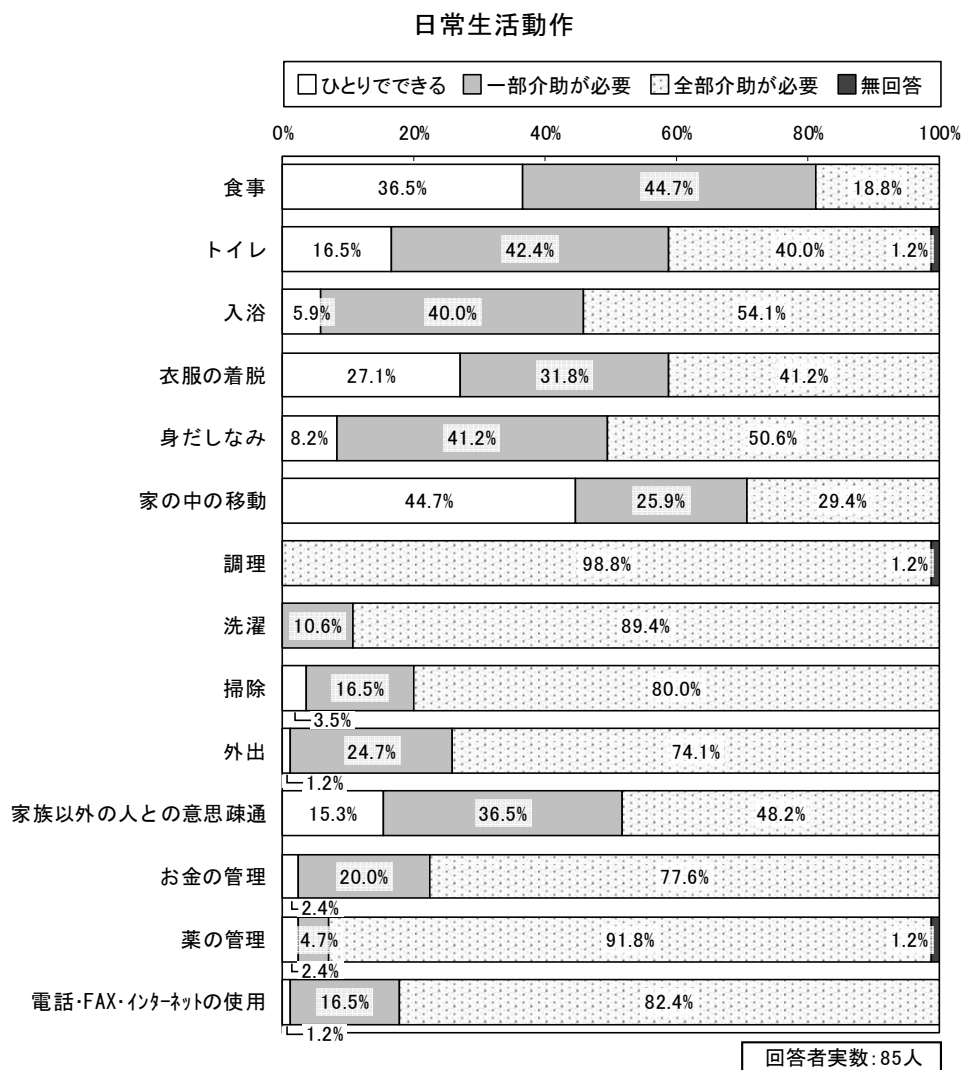
性別では、「男性」が64.7% (55人)と最も高く、次いで、「女性」が34.1% (29人)となります。



## (2) 日常生活動作

食事やトイレ、入浴などの日常生活動作について「ひとりでできる」と答えたのは「家の中の移動」が44.7%で最も高く、次いで「食事」が36.5%、「衣服の着脱」が27.1%となっています。

また、「トイレ」(16.5%)、「家族以外の人との意思疎通」(15.3%)が1割を超えていますが、そのほかの項目については、いずれも1割未満です。



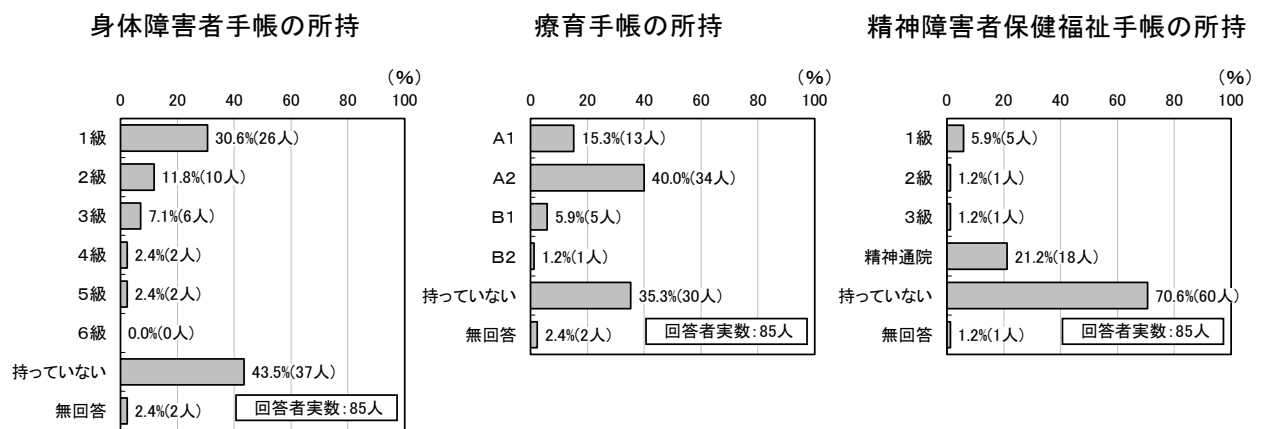
## 2. 障がいの状況について

### (1) 手帳の所持状況

障害手帳の所持状況をみると、身体障害者手帳所持者では「1級」が30.6%(26人)、「2級」が11.8%(10人)、「3級」が7.1%(6人)、「4級」と「5級」がそれぞれ2.4%(2人)となります。

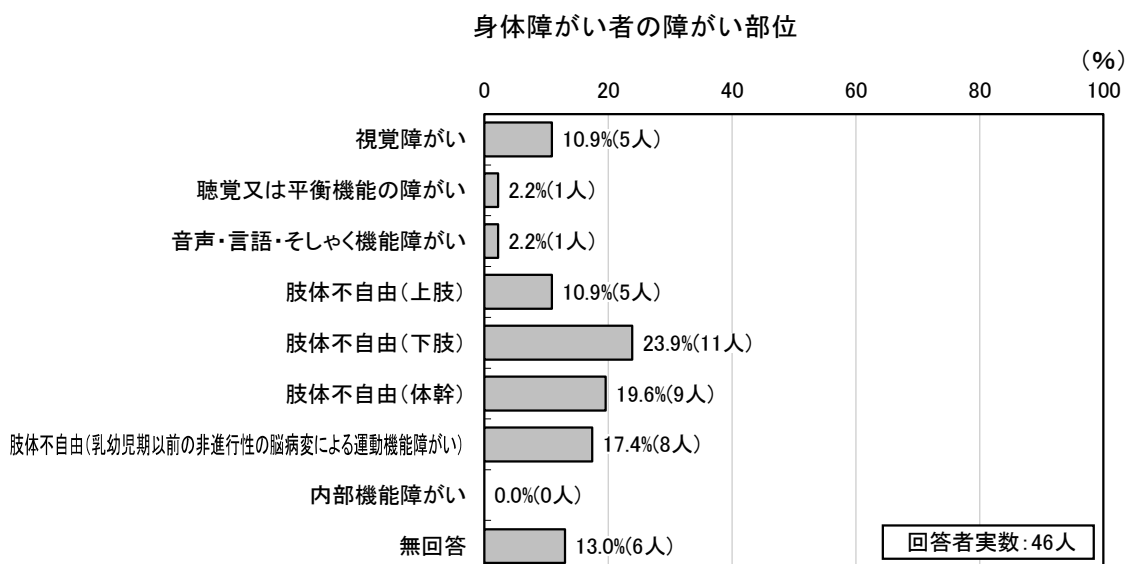
療育手帳所持者では「A2」が40.0%(34人)と最も高く、「A1」が15.3%(13人)、「B1」が5.9%(5人)、「B2」が1.2%(1人)となります。

精神障害者保健福祉手帳または自立支援医療(精神通院)受給者証の所持者では「精神通院」が21.2%(18人)、「1級」が5.9%(5人)、「2級」と「3級」が1.2%(1人)となります。



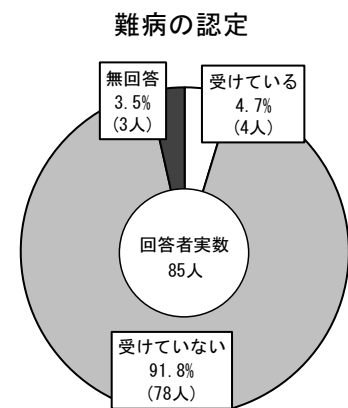
## (2) 身体障がい者の障がい部位

身体障がい者の障がい部位では、「肢体不自由(下肢)」が23.9%(11人)と最も高く、次いで、「肢体不自由(体幹)」が19.6%(9人)、「肢体不自由(乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障がい)」が17.4%(8人)、「視覚障がい」と「肢体不自由(上肢)」が10.9%(5人)、「聴覚又は平衡機能の障がい」と「音声・言語・そしゃく機能障がい」が2.2%(1人)となります。



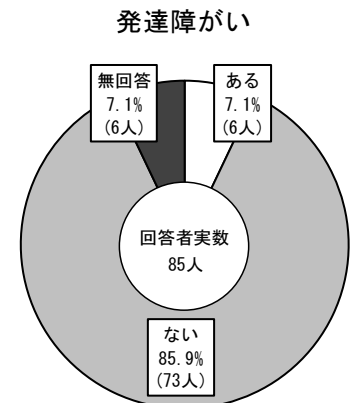
## (3) 難病の認定

難病の認定は、「受けていない」が91.8%(78人)、「受けている」が4.7%(4人)となります。



#### (4) 発達障がい

発達障がいの診断については、「ない」が85.9%(73人)、「ある」が7.1%(6人)となります。



#### (5) 現在受けている医療的ケア（複数回答）

現在受けている医療的ケアとしては、「医療的ケアを受けていない」が62.4%(53人)と最も高いですが、受けてる人では、「排便管理」が20.0%(17人)が最も高く、そのほかの医療的ケアは、1割未満となっています。

##### 現在受けている医療的ケア

	全体 (85人)
吸引	2.4% (2人)
ネブライザーの管理	1.2% (1人)
経管栄養	3.5% (3人)
血糖測定	2.4% (2人)
導尿	4.7% (4人)
排便管理	20.0% (17人)
痙攣時の座薬挿入、吸引、酸素投与、迷走神経刺激装置の作動等の処置	7.1% (6人)
医療的ケアを受けていない	62.4% (53人)
無回答	3.5% (3人)

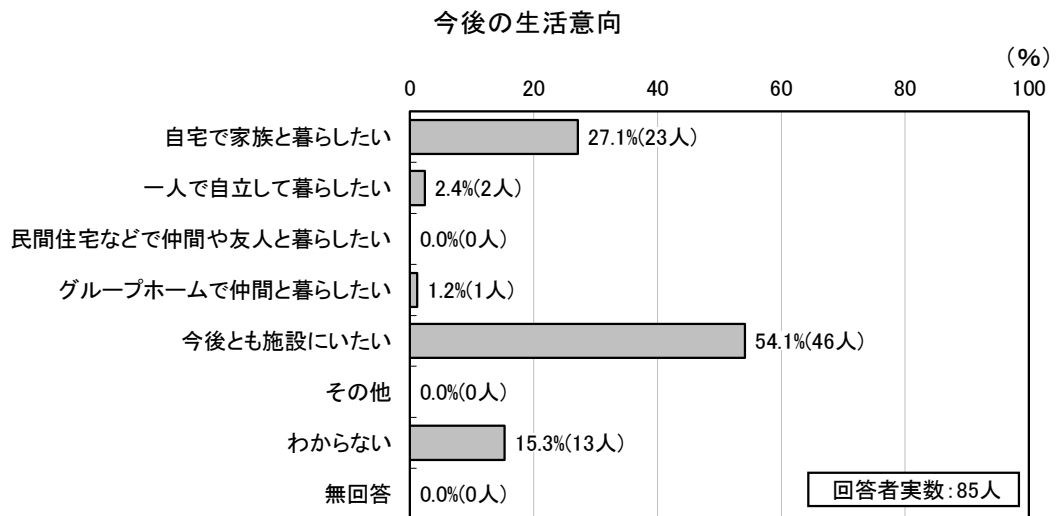
### 3. 住まいや暮らしについて

#### (1) 将来の地域生活の意向

今後の生活意向については、「今後とも施設にいたい」が54.1%(46人)と最も高く、次いで、「自宅で家族と暮らしたい」が27.1%(23人)となっています。

また、「わからない」が15.3%(13人)となっています。

年齢別でみると、30代・40代では「自宅で家族と暮らしたい」が最も高く、50代・60代・70代では「今後とも施設にいたい」が最も高くなっています。



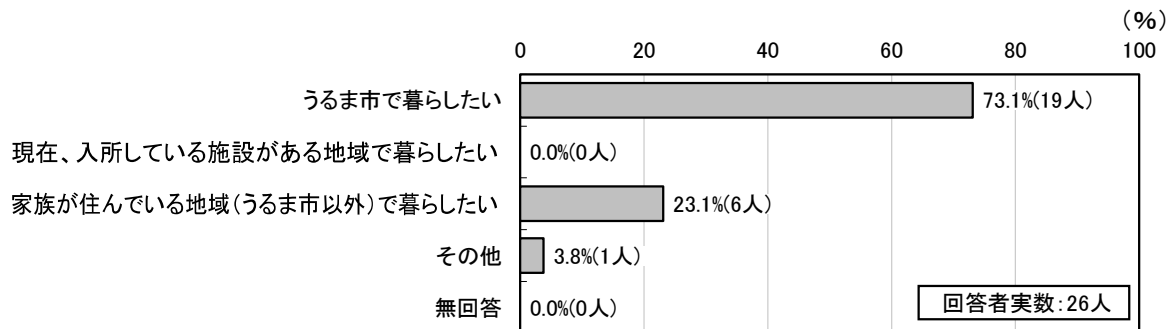
#### 今後の生活以降 (年代別)

	回答者 実数	自宅で家族と 暮らしたい	一人で自立し て暮らしたい	民間住宅など で仲間や友人 と暮らしたい	グループホー ムで仲間と暮 らしたい	今後とも施 設にいたい	その他	わからない	無回答
20代	2人	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	100.0% (2人)	0.0% (0人)
30代	6人	50.0% (3人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	33.3% (2人)	0.0% (0人)	16.7% (1人)	0.0% (0人)
40代	19人	47.4% (9人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	31.6% (6人)	0.0% (0人)	21.1% (4人)	0.0% (0人)
50代	27人	25.9% (7人)	3.7% (1人)	0.0% (0人)	3.7% (1人)	51.9% (14人)	0.0% (0人)	14.8% (4人)	0.0% (0人)
60代	24人	12.5% (3人)	4.2% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	79.2% (19人)	0.0% (0人)	4.2% (1人)	0.0% (0人)
70代	7人	14.3% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	71.4% (5人)	0.0% (0人)	14.3% (1人)	0.0% (0人)



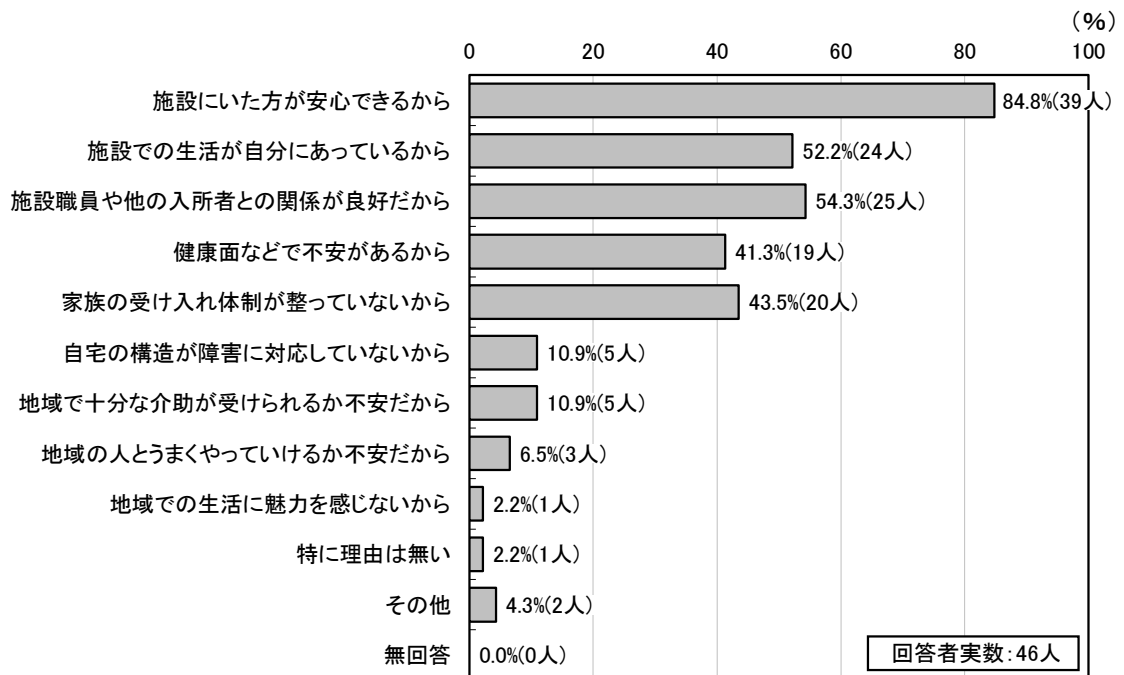
施設を出て暮らす場合、どこの地域で暮らしたいかについて尋ねたところ、「うるま市で暮らしたい」が73.1% (19人)と最も高く、次いで、「家族が住んでいる地域(うるま市以外)で暮らしたい」が23.1% (6人)となっています。

施設を出て暮らす場合、どこの地域で暮らしたいか



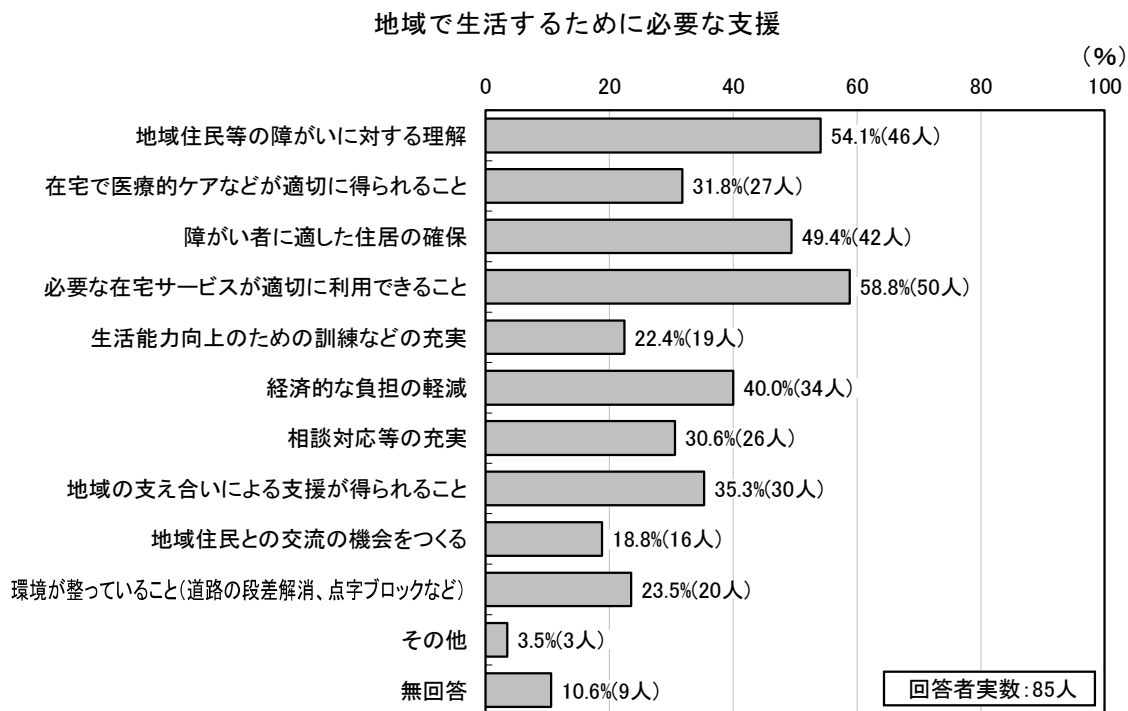
今後とも施設で生活を続けたい理由(複数回答)については、「施設にいた方が安心できるから」が84.8% (39人)と最も高く、次いで、「施設職員や他の入所者との関係が良好だから」が54.3% (25人)、「施設での生活が自分にあっているから」が52.2% (24人)で、これらの回答が5割を超えています。また、「家族の受け入れ体制が整っていないから」が43.5% (20人)、「健康面などで不安があるから」が41.3% (19人)も4割あります。地域へ戻る不安より、施設の利便性や安心感が理由となっています。

今の施設での生活を続けたい理由



## (2) 地域で生活するために必要な支援（複数回答）

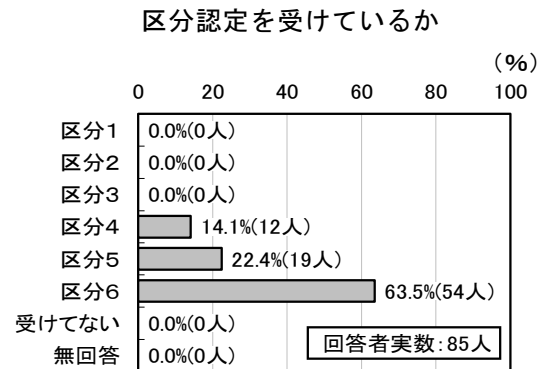
地域で生活するために必要な支援としては、「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が58.8% (50人)と最も高く、次いで、「地域住民等の障がいに対する理解」が54.1% (46人)、「障がい者に適した住居の確保」が49.4% (42人)と地域へ戻った際に安心して生活できるための支援が求められています。そのほか、「経済的な負担の軽減」が40.0% (34人)、「地域の支え合いによる支援が得られること」が35.3% (30人)、「在宅で医療的ケアなどが適切に得られること」が31.8% (27人)、「相談対応等の充実」が30.6% (26人)が3割を超えて比較的高くなっています。



## 4. 障害福祉サービス等の利用について

### (1) 区分認定を受けているか

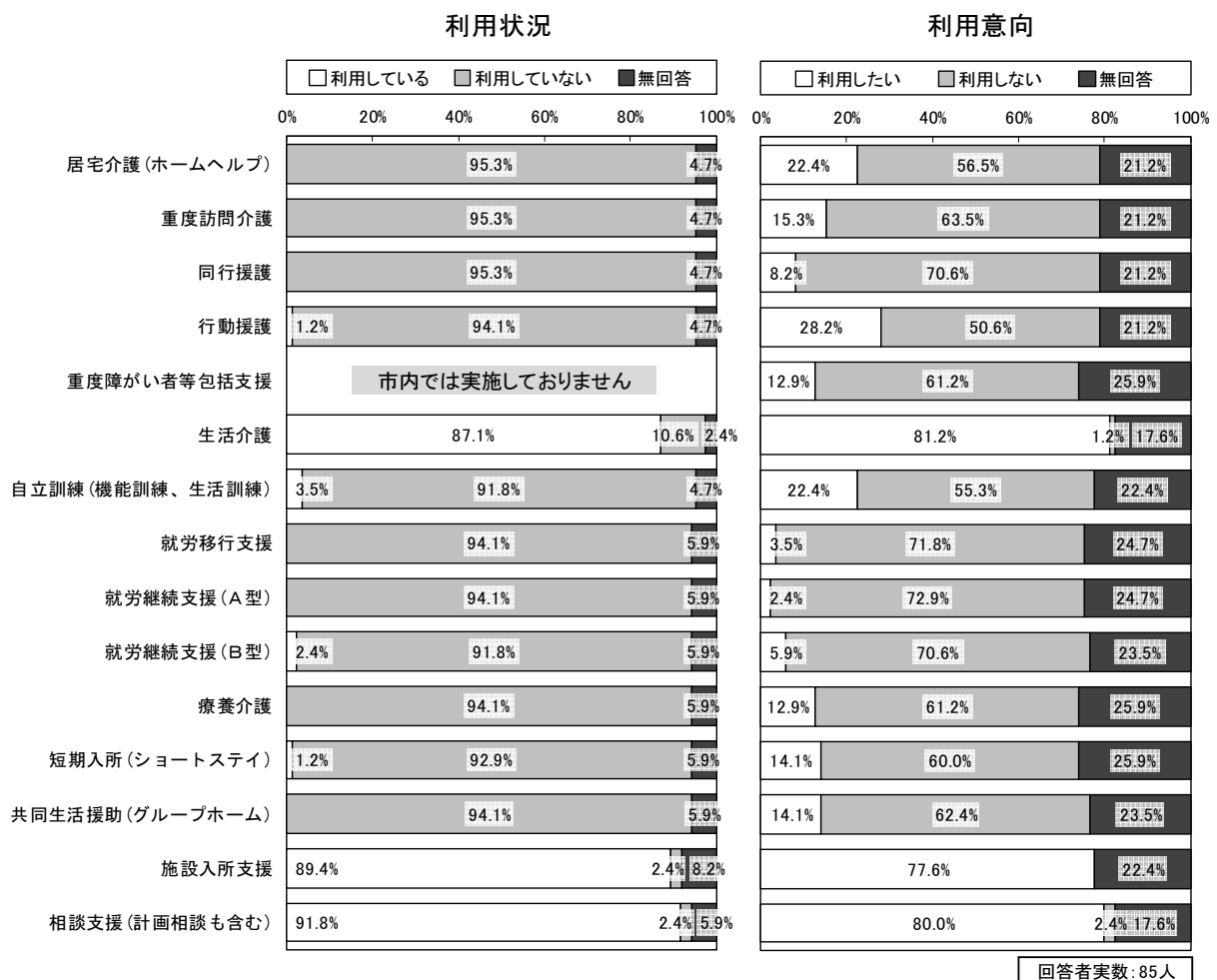
障がい支援(程度)区分の認定については、「区分6」が63.5%(54人)と最も高く、次いで、「区分5」が22.4%(19人)、「区分4」が14.1%(12人)となります。



### (2) 障害福祉サービスの利用状況と利用意向

障害福祉サービスの利用状況を見ると、「利用している」という回答は、「生活介護」、「施設入所支援」、「相談支援(計画相談も含む)」が9割前後を占めていますが、その他のサービスは1割未満です。

今後の利用意向については、現在ほとんどの人が利用している「生活介護」、「施設入所支援」、「相談支援(計画相談も含む)」の割合が8割前後を占めています。これに「行動援護」、「居宅介護(ホームヘルプ)」、「自立訓練(機能訓練、生活訓練)」がそれぞれ2割台で続いています。



(3) 障害福祉サービスの利用に関して困っていること（複数回答）

障害福祉サービスの利用に関して、「サービスに関する情報が少ない」が20.0% (17人)、「利用したいサービスが利用できない」が14.1% (12人)で、この2つが比較的高くなっています。

一方、「特に困っていることはない」が49.4% (42人)と約半数の方は困り事がないと回答しています。

